

日	曜	ふくやま書道美術館常設展示室・展示室
1	水	展示替えのため 休館
2	木	
3	金	<h2>春の所蔵品展「備後ゆかりの書家たち — 漢字」</h2> <p>会期：2026年4月3日(金)～5月6日(水・休)</p> <p>休館日：月曜休館 ※ただし、5月4日(月・祝)は開館。</p> <p>会 場：常設展示室・展示室</p>
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	<p>ふくやまは「書のまち」といわれるように、漢字・かな・前衛の多分野の書家が活躍する、「書」が大変盛んなまちです。その始まりは、福山市名誉市民として知られる、かな書家・桑田笹舟(1900-1989)の書活動から始まると言っていいでしょう。彼は戦後まもない福山で「書」の普及に尽力し、数多くの書家を生みだしました。そして、現在の「書のまちふくやま」の礎を築いたのです。</p> <p>笹舟をはじめ笹舟の子弟たちは中央書壇で活躍するとともに、地元備後地方においても書家や書道教育者の育成に力を入れ、福山には漢字、かな、前衛の書家が多く生まれていくこととなりました。</p> <p>本展覧会では、前期では漢字書家、後期ではかな書家に分け、備後福山にゆかりのある書家を紹介します。</p>
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	<p>作品上左：村上三島《道》(部分)</p> <p>作品上右：栗原蘆水《守・破・離》</p> <p>下中央：石永甲峰《嘗膽》</p>
28	火	
29	水	
30	木	

展覧会内容

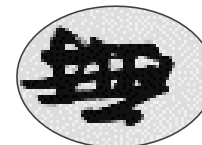


もっと知ろう！ 備後ゆかりの書家たち！ 漢字編

備後ゆかりの漢字書家の作品から「無」の字をあつめました。たった1文字からでも、同じ文字を見比べてみると、筆使いや勢いなど書きぶりの違いを感じ取ることができますね！

高尾泉石 (1909-2011)

漢字書家・府中市出身。高校教諭時代に当時高校生の栗原蘆水を指導。福山の書団体「芦辺書苑」創設に加わり、生涯地域に根差した書道活動を続け福山の書芸術振興に大きく貢献しました。



栗原蘆水 (1931-2010)

漢字書家・駅家町出身。福山市名誉市民。白と黒の清潔感、大らかで風格のある書を目指した書家の作品からは、強さ優しさ、懐の深さを感じることができます。栗原蘆水氏のコレクションの寄贈により、ふくやま書道美術館は開館しました。



石永甲峰 (1954-2017)

漢字書家・世羅町出身。栗原蘆水の弟子であり、書家として日展で活動し、ふくやま書道美術館初代副館長を勤めました。とにかく筆がよく動き一字一字の姿が美しく、勢いがあります。また作品全体に余韻を感じます。



所蔵品展観覧料

一般	150円(120円)
高校生以下無料	

※( )内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が無料です

- 社会福祉施設に入所されている方 (入館料観覧料減免申請書の提出が必要)
- 福山市、府中市、神石高原町に住所を有する65歳以上の方 (運転免許証やマイナンバーカードなど、住所・年齢が確認できるものが必要)
- 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。

※月曜日【      の日】は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY  
**美 ふくやま書道美術館**

〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号

J R 福山駅福山城口(北口)から西へ約400m Tel. 084-925-9222

Webページ [www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/](http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/)

電子メール [syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp)